

2000 年度 経済原論 : 期末試験

2000 年 7 月 14 日(金)実施

< 解答・採点基準 >

[第1問]

$$300 + 20 + 10 \times 5 = 370 \text{ (万円)}$$

(機会費用) (入学金) (授業料)

総費用: $20 + 10 \times 5 = 70$ 、固定費用: 20、平均費用: $70/10 = 7$ 、限界費用: 5

$$5x + 6y = 60$$

縦軸を y 、横軸を x とすると、縦軸の 10 と横軸の 12 の目盛りを通過するような直線を描き、その直線の左下の領域を示してあればよい。ただし、縦軸と横軸は逆でも可。

[第2問]

均衡点は供給曲線と需要曲線の交点なので、両式を連立させて解けばよい。

まず、 p を消去すると、 $100 - 2d = 10 + s$ である。ここで、均衡において $d = s$ であることに注意すると、 $d (= s) = 30$ が得られる。したがって、 $p = 40$ となる。

消費者の購入価格が供給曲線の 10% 超になり、消費税を加味した供給曲線が左上にシフトしたように描ける。消費税を加味した供給曲線は $p = 11 + 1.1s$ なので、新しい均衡における取引量は $d (= s) = 28.7$ 、価格は $p = 42.6$ となる。

税込価格が 42.6 なので、税引き価格は $42.6 / 1.1 = 38.7$ である。

元の価格 40 を基準にすれば、消費者の負担は 2.6、生産者の負担は 1.3 となる。

供給曲線と需要曲線の傾き（の絶対値）の相対的な大小に注目する。相対的に需要（供給）曲線の傾きが急な場合、すなわち需要（供給）が価格非弾力的な場合には、消費（生産）者の負担が多くなる。極端なケースでは、消費税のすべてが消費（生産）者に帰着する。

[第3問]

M さん ポテト

N さん ハンバーガー

特化した方が有利なことを示せばよい。

M さん ハンバーガー

K さん ポテト

特化した方が有利なことを示せばよい。

比較優位

絶対優位との違いを明らかにすること。

自分の比較優位は経営にあるから。

[第4問]

すべて誤り。

輸出は国内製品に対する需要なので GDP に含まれる。

失業率を下げると、インフレ率が上昇するというトレードオフ関係が存在するため、一概には言えない。

労働力人口や資本ストックが不変でも、技術進歩があれば、プラスの経済成長を達成することが可能である。

「望む通りの総需要の水準を実現すること」は困難である。

不況期などには、財政赤字の発生が望ましい可能性もある。